

令和2年度鹿児島市事業評価監視委員会 会議概要

(日程・場所・出席者)

(日 程) 令和2年11月2日(月) 14:00～15:56

(場 所) 鹿児島まちづくり土地区画整理協会 4階会議室

(出席者) 委員：6名(1名欠席)

説明員：都市計画部長、区画整理課長、吉野区画整理課長、谷山都市整備課長

(事務局) 建設管理部管理課

(審議項目)

- ① 「鹿児島市における区画整理による安全・快適なまちづくり(第2期)」評価原案
- ② 「鹿児島市における人と環境にやさしい交通環境の充実による公共交通利用の促進」評価原案

委員の意見・質疑等	
①	「鹿児島市における区画整理による安全・快適なまちづくり(第2期)」評価原案
1	<p>(委員) 「評価時走行時間と整備後走行時間の差」の「評価時」という表現が、事後評価を行っている現時点(令和2年度)と勘違いされやすく、紛らわしいので、「整備前」とした方が分かりやすいのではないか。</p> <p>(説明員) 国に変更ができるか確認したい。</p>
2	<p>(委員) 計画の目標が「活力のある社会の形成と安全で安心して暮らせる快適なまちづくりの推進を図る。」となっており、これは主観的なものである。速さなどの定量的指標で達成度を量ることは理解するが、それだけでいいのか。安全・安心・快適など、定性的なものを記載できないのか。</p> <p>(説明員) 今回は定量的な指標を使って効果を確認している。ご指摘の点については、第3期の計画を作る中で、どのような指標がいいのか検討していきたい。</p> <p>(委員長) 定性的な評価について、今回の事後評価書に記載できるのか確認してほしい。</p>

② 「鹿児島市における人と環境にやさしい交通環境の充実による公共交通利用の促進」評価原案

3	<p>(委員) JR坂之上駅、谷山駅、慈眼寺駅の利用者数(日当たりの換算乗降客数)について、計画策定時に年度別推計値を算出し、これを基に最終目標値を設定しているが、推計値と目標値との関係が読み取れないので、推計値の算出方法も記載すべきではないか。</p>
4	<p>(委員) まだ供用開始していないもの(永田川右岸の遊歩道整備:令和2年12月供用開始予定)もあるが、評価時期は適切なのか。また、評価を公表する際は、上記の整備も完了しているとのことだが、いつ時点で評価を行ったのか記載するのか。</p> <p>(説明員) JRの各駅の乗客数データが次年度に公表されることから、計画期間の最終年度の次の年に評価を行うこととしている。評価を行った時期の記載については検討したい。</p>
5	<p>(委員) 谷山地区アクセス環境整備事業は、計画策定時の全体事業費4億1,300万円に対し、実績額2億7,700万円となっており、材質等を見直したことで、コスト縮減が図られたとのことだが、このことはプラス材料として事後評価シートに記載すべきではないか。</p> <p>(説明員) 評価に盛り込めるか検討したい。</p>
6	<p>(委員) 谷山地区の駅利用者は、同地区の人口比で見ると、平成27年度の12.71%から令和元年度の14.9%に増加している。指標には設定されていないが、計画の目標にある「公共交通機関への利用転換の促進」が図られているとも読み取れるので、このことも記載してもいいのではないか。</p> <p>(説明員) 記載する方向で検討したい。</p>